

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 分散配置アレイによる音空間の記録・再生技術基盤の構築

2. 個人研究者名

小山 翔一（東京大学大学院情報理工学系研究科 講師）

3. 事後評価結果

本研究では、広い領域の音空間を忠実に記録・再生するために、従来のようなマイクロフォン・スピーカ素子を単純なアレイ形状で多数配置する方法ではなく、アレイ素子を任意の位置に配置可能な音場収録・再現技術の開発を目指した。

成果として、当初の研究目標とは少し異なるが、波動場の考えを取り入れた音場分析手法を実現し、今までにないアクティブ騒音の低減技術を完成している点が高く評価できる。音声に関しては、世界トップレベルの成果と思われる。ただ、アクティブ騒音抑制についてはシミュレーションにとどまっているため、実環境での検証が必要になってくる。

今後、このさきがけ研究の成果のように、着実な成果を積み重ねて、更なる研究につなげていくことを期待する。